



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月4日

上場会社名 ジェコー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7768 URL <http://www.jeco.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田渕 武重
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 葛巻 貞行 (TEL) 048 (556) 7111
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,440	45.2	421	—	442	—	144	—
22年3月期第1四半期	3,746	△44.1	△333	—	△295	—	△513	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	8	35	—	—
22年3月期第1四半期	△29	71	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	15,609		9,500		60.2	544	13	
22年3月期	15,437		9,499		60.9	544	26	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 9,404百万円 22年3月期 9,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0	00	—	7	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注1) 当四半期における配当予想の修正有無：無

(注2) 現時点では配当予想額は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	11,100	27.3	790	—	810	—	380	—	21	99
通期	20,500	△1.1	930	35.3	950	29.0	570	△4.9	32	98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 1「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	17,310,069株	22年3月期	17,310,069株
23年3月期1Q	26,515株	22年3月期	26,009株
23年3月期1Q	17,283,827株	22年3月期1Q	17,285,385株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 当社の配当につきましては、安定した利益配分を目指し、業績及び将来の事業展開を勘案して実施していきたいと考えております。しかしながら、経営環境の先行きが依然不透明であるため、当期の配当につきましては、現時点で未定とし、今後の業績動向を勘案した上でご提案させていただきます。

(参考) 平成23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,400	25.4	680	—	770	—	360	—	20	83
通期	19,200	△2.0	670	30.4	820	8.5	480	△36.8	27	77

(注) 当四半期における業績修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. その他の情報	1
(1) 重要な子会社の異動の概要	1
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	1
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	1
3. 四半期連結財務諸表	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの関係する自動車業界におきましては、エコカー減税や補助金政策などが後押しして、国内自動車販売台数が大幅な増加となったこともあり、当第1四半期連結会計期間における当社グループの連結業績は、売上高は5,440百万円（前年同四半期比45.2%増）となりました。売上高の状況を部門別に申し上げますと次の通りであります。

表示系製品は自動車時計、エアコンパネルなどの生産が増加した結果、売上高は3,816百万円（前年同四半期比43.6%増）となりました。

モータ系製品は電子スロットルモータなどの生産が増加した結果、売上高が900百万円（前年同四半期比58.2%増）となりました。

その他製品では電流センサ類などの生産が増加した結果、売上高は723百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

利益につきましては、需要の回復による増収や昨年度から継続している固定費削減、生産効率化など原価低減活動にグループをあげて取り組んできた結果、営業利益421百万円（前年同四半期は営業損失333百万円）、経常利益442百万円（前年同四半期は経常損失295百万円）、四半期純利益144百万円（前年同四半期は四半期純損失513百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金や有形固定資産などが減少したものの、関係会社預け金などの増加により、前期末に比べ171百万円増加し、15,609百万円となりました。負債については仕入債務の減少などがあったものの、資産除去債務の計上などにより、前期末に比べ170百万円増加し、6,108百万円となりました。純資産については利益剰余金の増加等により、前期末に比べ1百万円増加の、9,500百万円となり、自己資本比率は60.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、主要顧客向けの売上高の増加が見込まれることにより、予想数値を修正しております。

なお、通期におきましては前回の業績予想（平成22年5月14日発表）と変更はございません。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（棚卸資産の評価方法）

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ613千円減少し、税金等調整前四半期純利益は93,542千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	846,653	882,394
受取手形及び売掛金	3,605,600	3,854,322
有価証券	755,660	796,017
商品及び製品	281,022	246,780
仕掛品	616,702	584,221
原材料及び貯蔵品	538,465	525,932
関係会社預け金	3,193,481	2,453,403
その他	218,687	259,931
流動資産合計	10,056,274	9,603,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,494,791	1,473,456
機械装置及び運搬具(純額)	2,758,517	2,938,420
その他(純額)	787,985	877,417
有形固定資産合計	5,041,294	5,289,294
無形固定資産	99,648	108,515
投資その他の資産		
その他	471,610	496,121
貸倒引当金	△59,227	△59,227
投資その他の資産合計	412,383	436,894
固定資産合計	5,553,327	5,834,704
資産合計	15,609,601	15,437,709
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,785,475	3,115,952
未払法人税等	157,707	19,450
引当金	63,674	73,867
その他	1,786,543	1,546,374
流動負債合計	4,793,400	4,755,644
固定負債		
退職給付引当金	1,152,132	1,125,321
役員退職慰労引当金	63,364	57,453
資産除去債務	99,808	—
固定負債合計	1,315,306	1,182,774
負債合計	6,108,706	5,938,418

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,777	1,563,777
資本剰余金	2,198,186	2,198,186
利益剰余金	5,566,371	5,543,105
自己株式	△9,643	△9,503
株主資本合計	9,318,691	9,295,565
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,888	118,252
為替換算調整勘定	△6,133	△6,814
評価・換算差額等合計	85,755	111,438
少数株主持分	96,447	92,286
純資産合計	9,500,895	9,499,291
負債純資産合計	15,609,601	15,437,709

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,746,754	5,440,671
売上原価	3,728,339	4,658,060
売上総利益	18,414	782,611
販売費及び一般管理費	351,709	361,140
営業利益又は営業損失(△)	△333,295	421,470
営業外収益		
受取利息	5,074	5,256
受取配当金	2,456	2,542
作業くず売却益	851	3,430
為替差益	32,314	15,803
その他	5,591	2,724
営業外収益合計	46,288	29,757
営業外費用		
固定資産廃棄損	7,112	62
減価償却費	—	5,546
租税公課	—	2,042
その他	1,303	1,033
営業外費用合計	8,416	8,685
経常利益又は経常損失(△)	△295,422	442,542
特別損失		
減損損失	18,299	1,272
事業再編損	200,975	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	92,929
特別損失合計	219,275	94,201
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△514,697	348,340
法人税、住民税及び事業税	4,912	164,120
法人税等調整額	△12,825	36,258
法人税等合計	△7,913	200,378
少数株主損益調整前四半期純利益	—	147,961
少数株主利益	6,787	3,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△513,572	144,254

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。